

ドイツで働くためには？

せっかくドイツ語を学び始めた人の中には「将来はドイツ語を使える仕事をしてみたい」、「ドイツで働いてみようかな」と漠然と考えている人も多いかもしれません。でも、実際にどんな選択肢やルートやリスクがあるのか、具体的に知る機会はなかなかありません。

そこで獨協大学では、日独協会のご協力を得て、ドイツでの勤務経験が豊富でドイツ事情に詳しい講師の方々をお招きし、将来ドイツで働くためにはどんなことを知っておくべきか、どんなスキルや語学力が必要とされるのか、また「職」についての考え方や就職事情が日独でどう違うのか、お話をうかがいます。関心のある人はどなたでもご参加ください。

期日: 11月2日(土) 15時~17時 (雄飛祭期間中)

場所: 獨協大学 6棟 101教室 (キャンパス内、西南端にある建物、1F)

プログラム 1. 樋上 雅之(講演)『ドイツで働くためのキャリアプラン』
2. パネルディスカッションと質疑応答

パネラー: 樋上 雅之、柚岡 一明、佐藤 勝彦、木田 宏海
(司会: ドイツ語学科教員 相澤 啓一・川崎 聡史)

主催: 獨協大学 外国語学部 **協力:** 公益財団法人 日独協会

出演者略歴

樋上 雅之 大学卒業後、外航海運会社に就職しタンカー運航・海上保険を担当。その後国内の外資系損保(米系・スイス系・ドイツ系)勤務後、オーストリア・ドイツの現地保険ブローカーにて計7年間日系企業を担当。帰国後は国内損保の国際部、外資系生保の営業企画を経て現在は国内損保の法務・コンプライアンス部に勤務。日独協会評議員。「ドイツ語とキャリア形成」セミナー講師。

柚岡 一明 JETRO、デュッセルドルフ日本商工会議所・日本クラブ等にて勤務(在独合計18年。日本企業の対独投資・ビジネス、労務管理指導、ドイツ政府・州政府のロビー活動など)。同志社大学客員教授、日独協会常務理事として、日本の学生たちのドイツでの就職機会のアドバイスや指導にあたっている。

佐藤 勝彦 学生時代に約1年間ドイツ遊学及び1.5か月の工場におけるインターンシップを経験し、卒業後総合商社に35年勤務。その間、二度に亘り7.5年のドイツ勤務。現在はドイツ・ブレーメン経済工科大学客員教授。日独協会理事。

木田 宏海 大学時代ウィーン市相互保険会社でインターンシップ。その後ウィーン経済単科大学に留学。総合商社化学品部門に30年勤務。デュッセルドルフ日本人学校事務局長を歴任し、総合商社での駐在も含め通算21年ドイツ勤務。日独協会理事。前獨協同窓会事務局長。